





# 【目指す将来像】

## 市民の暮らしを支える利用しやすい交通ネットワーク!

あらゆる移動手段が一体となった総合的な交通体系により、萩市の都市部から中山間地域や離島まで、萩市のどこに住んでいても、市民が自宅から目的地まで移動することができる利用しやすい交通ネットワークを構築します。

利用しよう!  
公共交通

### 基本方針 1

#### 市民の日常生活を支える生活交通網の構築

##### これからの主な取組み

- ▶ 利用者ニーズに応じた運行ルートや運行便数等の見直し（路線バス、まあーるバス、ぐるっとバス）
- ▶ 高齢者が利用しやすい運賃の検討や福祉施策による移動サービスの利用促進
- ▶ J R・バスによる高校への通学環境を維持・確保
- ▶ バス停などの待合環境の整備に対する支援

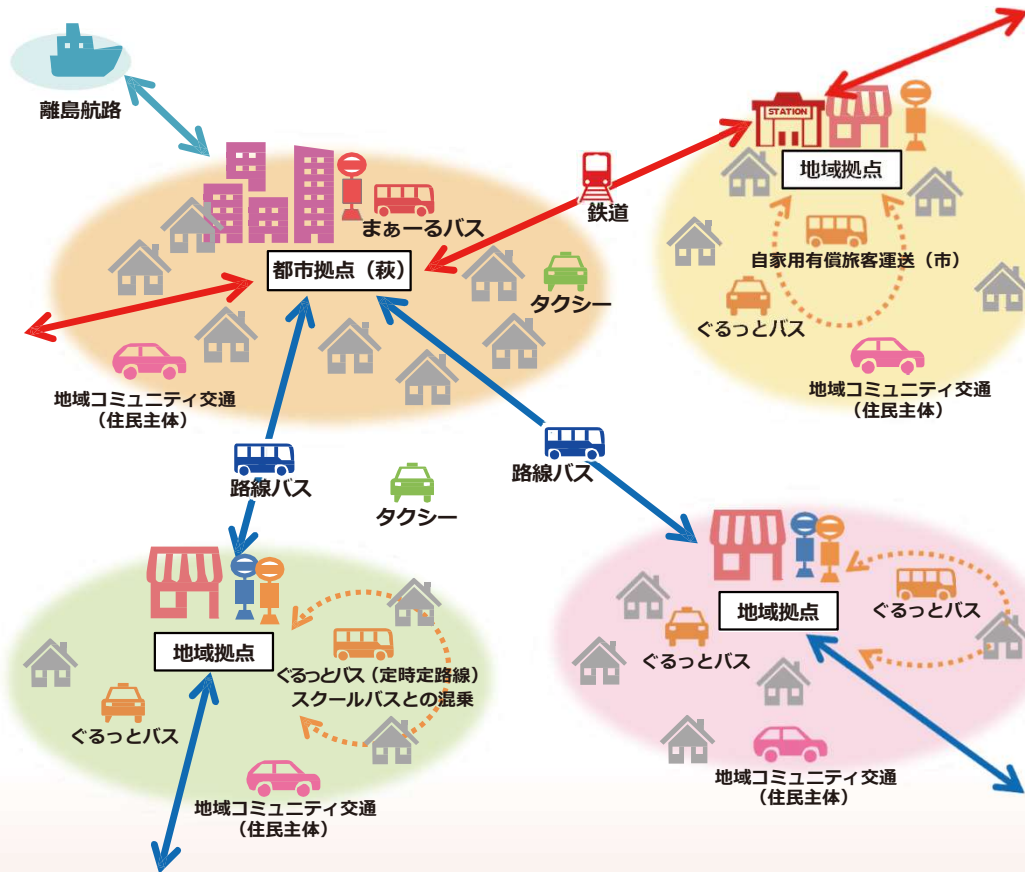


例：路線バスの運行ルートの見直し



例：利用者ニーズに応じたバスの運行形態の見直し

### 都市部から中山間地域や離島まで、移動しやすい交通ネットワークを構築



### 基本方針 2

#### 多様な公共交通の組み合わせによる、より効果的な交通網の再構築

##### これからの主な取組み

- ▶ 広域的な幹線交通と支線交通の役割分担を明確化し、結節機能を強化することで、効果的な公共交通網を再構築
- ▶ 様々な交通体系を組み合わせた交通網を形成し、持続可能な移動手段を確保
- ▶ 生活圈や交通圏が似通った地域は、地域間を越えた総合的な交通体系へと見直し



例：幹線交通と支線交通の役割分担の明確化と交通結節点の強化

#### 主な目標 (令和6年度まで)

- ★ 高齢者の公共交通に対する満足度 17% → 25%
- ★ 路線バス年間利用者数 223,876人 → 230,000人
- ★ 公共交通の人口カバー率 92% → 92%
- ★ 住民主体の地域コミュニティ交通実施主体数 1組織 → 2組織 (導入支援数：10団体)
- ★ まあーるバスの市外来訪者年間利用者数 34,231人 → 38,000人

### 基本方針 3

#### 行政・市民・交通事業者等の連携・協働による、持続可能な公共交通の維持・確保

##### これからの主な取組み

- ▶ 地域内での支え合いによるコミュニティ交通の導入を支援
- ▶ 交通事業者が行う運転士の確保対策と市のUJIターン施策を連動させた取り組みを実施
- ▶ 総合時刻表作成など、分かりやすい公共交通情報を提供



例：コミュニティ交通の導入支援



例：UJIターン施策と連動した運転士確保対策

### 基本方針 4

#### 豊かな暮らしと観光交流のまちづくりに寄与する公共交通網の構築

##### これからの主な取組み

- ▶ 交通分野のみならず、まちづくり施策をはじめとする他の分野と連携しながら公共交通を推進
- ▶ 移動手段と観光施設の情報が一体となったマップなどによる情報提供
- ▶ 交通系ICカードの導入やバスロケーションシステムの活用周知などにより、公共交通の利便性を向上



例：スマートフォン等を活用したバス時刻表の導入（バスロケーションシステム）